

にしましょう。皆で集まって勉強するから盛り上がり、一体感が生じるのです。知識を得ることも重要ですが、講師と受講者、そして受講者の間の一体感を得ることが講演会の目的です。共通の疑問に対する共通の理解。知識と情報だけで生活が成り立つと考えているのがテレワーク時代の勘違いです。

《3》 楽しい楽しい税理士業（本日のテーマ）

税理士業の特殊性を拾い出せば						
① テレワーク、フリーランス、45歳定年。その後にあるのが税理士の働き方						
② 遅れた職業と思ってましたが、もしかして時代の先に行く職業なのかと思う						
③ 売上は自尊心で、経費は贅沢で、所得は余録で、蓄えが実績になる仕事です						
④ “ちょうどいい”という居心地の良い、自分に見合った事務所が作れる柔軟さ						
⑤ 税法の全てには理屈があり、税法全体の整合性が存在し、その理論が美しい						
⑥ 営業マンのように客に売り込むノルマもなく顧客と利害が常に一致する仕事						
⑦ お付き合いする税務職員は公務員の中で唯一カネを稼ぐ実利の立場の公務員						
他の職業と比較してみよう						
弁護士 10年	裁判官 3年	検察官 2年	会計士 1年	サラリーマン 我慢して3年	公務員 我慢して	大学教授 自分の世界
税理士という職業を位置づける						
儲かる商売 税理士と名乗る根拠 顧問料というサブスクリプション 法律の中の税法の地位 歴史は税法で作られる 一流でも2流意識の職業 上下関係が不要な社会						

税理士という職業を選択した幸せを噛みしめる2時間の講演会です

第1 税理士業の特殊性を拾い出せば

《1》 働き方改革の先にあるのは

この頃の働き方改革のニュースを見ていると、その先に実現するのは税理士の働き方という感じを受けます。テレワーク、フリーランス、45歳定年制。その後には登場するのは税理士のような働き方です。